

1. 基本情報						
事務事業番号	02178	事務事業名	霧島ジオパーク推進事業	担当部	商工観光部	
政策名	005	きょうどう（市民とつくる協働と連携のまちづくり）		担当課	霧島ジオパーク推進課	
施策名	004	市の魅力と価値を高める多角的施策の展開		担当課長	竹下 淳一	
基本事業名	001	ジオパーク活動の推進		グループ	霧島ジオパーク推進グループ	
予算科目目	会計 一般会計 款 07 商工費 項 01 商工費 目 06 霧島ジオパーク推進費	事業期間	単年度のみ 単年度繰返（開始年度 平成20年度 ~ ） 期間限定複数年度（ ~ ）			
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	根拠法令・条例等	なし	
				関連計画	なし	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細を記述）
 霧島ジオパーク推進連絡協議会の事業運営費として負担金を交付する。
 霧島ジオパーク推進連絡協議会（以下「協議会」という。）：平成20年10月に、環霧島地域を組織する地域（以下「環霧島地域」という。）の美しい地質遺産を、地域住民、行政等が連携して保護・研究し、教育的活用やジオツーリズムの場として利用できる環境整備を行うことにより、地域社会の活性化に寄与することを目的として設立された。
 負担金は宮崎県都城市・高原町・小林市・えびの市、鹿児島県霧島市・曾於市の5市1町から均等割20%、人口割80%で算出し、毎年度協議会に対し支払っている。
 協議会の事業は、環霧島地域における自然保護に関する事業、地質学的・生態学的調査研究に関する事業、ジオパーク資産を利用した教育啓発及び観光に関する事業、地域連携や情報発信等に関する事業等で、特定の政策・施策に限られたものではない。

活動指標（事務事業の活動量）	単位	平成31年度（実績）	令和 2年度（見込）	令和 3年度（見込）	令和 4年度（見込）
ア 負担金を交付した団体数	団体	1	1	1	1
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象（誰、何を対象にしているのか）	対象指標（左記 対象の大きさを表す指標）	単位	平成31年度（実績）	令和 2年度（見込）	令和 3年度（見込）	令和 4年度（見込）
ア 市民	市民数	数	124,367	124,181	124,882	123,908
イ 学校	学校数	校	55	55	55	55
ウ						

意図（対象をどうしたいのか）	成果指標（左記 意図の達成度を表す指標）	単位	平成31年度（実績）	令和 2年度（目標）	令和 3年度（目標）	令和 4年度（目標）
ア ジオパークのことを知ってもらおう	ジオパークの認知度	%	0	98	0	98
イ ジオパークの活動に参加してもらおう	ジオパーク活動への参加率	%	0	14	0	14
ウ ジオパークを教育活動に活用してもらおう	ジオパークについての教育	校	21	27	8	29

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針（総合計画より）
 出前講座やフォーラム、モニターツアーなどを開催し、ジオパークの認知度向上を図るとともに、ジオパークの目的である地域の持続可能な発展を目指し、関係機関や民間団体と連携しながら、地域資産の保全、教育や観光への活用、防災への取組みを推進します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和 2年度の改善改革の内容（取り組むべき課題）
 平成31年度定例総会においてジオパークエリアを各自治体全域へ拡大することが決定され、事業費が増加することから、構成自治体へ職員派遣を求めたが、成しえなかった。引き続き、構成市町へ職員派遣を要請するとともに、構成市町などに業務等への協力や分担を依頼していく。平成31年度に設置したプロジェクトチーム（特定目的がある分野の調査・エリア拡大、10周年記念事業）も、活発に動かし、課題の解決や組織の活性化に取り組み。また、霧島ジオパークにとって10周年の前目となることから、これまでの活動を振り返るとともに、これからの10年のビジョンを描く。

4. 事業費の推移

事業費	単位	31年度 決算	2年度		3年度 当初予算	4年度 計画
			当初予算	決算		
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	1,251	1,222	933	1,178	1,178
事業費	千円	1,251	1,222	933	1,178	1,178

5. 令和 2年度の実績及び成果

(1) 令和 2年度の実績（取組） <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和 2年度の成果 <左記の実績（取組）による成果を記載>
協議会実績 ・教育事業 出前講座（小学校 6件、中学校 1件、高校 1件） 授業支援・研究支援（県外高校 2校・国分高校） 霧島市教育関係者向け研修（18名） イベントブース出展 霧島ジオパークプロモーションビデオ作成 ・ガイド研修 例会、ガイド研修を開催 ・JGN関係 通常総会（糸魚川市） 全国研修会（三笠ジオパーク） 九州ジオパーク連絡会等（オンライン） ・その他 学術会議への参加、発表（日本地球惑星科学連合大会） 霧島ジオパーク10周年記念事業 （巡回パネル展、火山勉強会、登山大会） 各構成市町の関係団体と連携したツアー及び研修 エリア拡大に向けた新規サイト候補地の選定	協議会成果 日本ジオパーク認定から10周年を迎えたことから、これまでの活動内容をまとめた巡回パネル展や登山大会、火山勉強会等を実施した。また、エリア拡大やガイド養成等についてプロジェクトチームによる各種課題解決を図った。 その他、各団体への支援や啓発によるジオツーリズムの推進。国分高校のSSH事業への運営指導による教育・人材育成。学術会議等では、霧島ジオパークの研究・取組内容の発表を行った。

事務事業 番号	02178	事務 事業名	霧島ジオパーク推進事業	担当部	商工観光部
				担当課	霧島ジオパーク推進課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由 ジオパーク活動は、官民一体となって地質遺産を保護・研究し、教育や観光、防災などに活用していくことで、持続可能な地域社会を發展させる重要な活動であり、さらに、5市1町で構成されていることから市単独での廃止・休止等の判断はできない。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充			
		維持		レ	
		縮小			
	休廃止(統合含む)				
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入(予算)の方向性			
(2) 令和3年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	平成30年度の日本ジオパーク再認定審査結果報告書において、環霧島会議と一体となって活動を展開していく必要があるとの指摘を受け、平成31年度定例総会においてジオパークエリアを各自治体全域へ拡大することが決定されていることから、エリア拡大等に対応するため基本計画の見直しや既存・新規ジオサイト保全計画の策定を行う。 また、「特定の目的がある分野の調査・研究及び方針検討のためのプロジェクトチーム(ガイド養成、エリア拡大等)」を活発に動かし、課題の解決や組織の活性化を目指す。 その他、地域住民や霧島を訪れるの方々に対して、霧島ジオパークのより効果的な情報発信を図る。				
(3) 令和4年度の方向性 (具体的な取組)	令和4年度は、エリア拡大申請(新規申請扱い)を行うため、その認定を目指す。 具体的には、日本ジオパーク認定申請書を作成し、審査機関である日本ジオパーク委員会による書類審査、プレゼンテーション審査、現地調査にそれぞれ対応する。 なお、この審査は4年に一度実施される再認定審査を兼ねるため、前回審査時の指摘事項に対する回答も同時に示す必要がある。				

8. 2次評価結果(担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充	
		維持	
		縮小	
	休廃止(統合含む)		
		皆減	縮小 維持 拡大
		コスト投入(予算)の方向性	
(2) 総評			

